

先生たちの

お薦め本



読書は何故良いのか

皆さんは本を読むことは好きですか？

学校の先生は口をそろえて、「本を読みなさい」と言います。それは皆さんを苦しめるためではありません。読書をするのは「良いことだらけ」だからです。

私たち教員は、君たちの先輩たちが小牧高校を卒業するときに、もっと言うなら、大学受験をするときに「もっと本を読んでおけばよかった…」「なんで私はこんなに漢字を知らないんだろう…」「全然文章が書けない！先生どうしよう」と嘆いている様子をたくさん見てきました。

読書力は簡単にはつきません。毎日…とはいませんが、2週に1冊を読み終えるペースをずーーーーーっと継続して、やっとなつてきます。

苦痛に思えるかもしれませんが、とんでもない！君たちはまだ「良い本」に、「面白い本」に、「自分に合う本」に出合っていないから、読書が辛いのです。面白い本はスマホを眺めている時間ぐらい集中させ、あっという間に時を進めさせ、読み終わらせてくれるのです。

読書の効果

- ① **ストレスが解消される**
※科学的に実証済み
- ② **想像力が磨かれる**
- ③ **脳が活性化**
※科学的に実証済み
※学習効果2割 up!!
- ④ **視野が広がる**
- ⑤ **教養が磨かれる**
- ⑥ **読解力が高まる**
- ⑦ **知識・語彙が増える**
- ⑧ **会話力・文章力が向上する**

ですから、まず自分に合った本に出合ってください。そのための「きっかけ」として先生のお薦め本を紹介します！

この休校期間中、勉強の時間、家事の手伝いの時間、軽い運動の時間、自分の趣味の時間に、「読書の時間」を加えて、新しい力を身に付けましょう！！

先生のお薦め本

～ vol.1 6組担任 ～
光文社文庫 坂本司 『和菓子のアン』

私が皆さんにお薦めする本はたくさんあります。が、トップバッターですので、今回は「長い本は読めない～」という子に、短編がいくつか入って一つの小説になっている『和菓子のアン』を紹介します。

この本は短編一つでも面白いし、全部読むと主人公の成長もみられて面白いし、日本の文化も知ることができるし、和菓子を食べたくなるという一石四鳥の小説です。

将来の展望が見えず、夢はないのに食べることの大好きな主人公の「杏」がデパ地下の和



菓子屋さんでアルバイトを始めます。そのアルバイトを通して、働くことや他者を気遣うこと、想像することの大切さに気づくというお話です。

和菓子は日本の四季や源氏物語といった古文の内容を踏まえて作られています。和菓子の代表格おはぎには7つの呼び名があるとのこと。気になる人はぜひ本を読んでみてください！呼び名の理由も書かれていて、日本文化の奥深さを知ることができますよ。

学校の図書館にも入っているそうです。興味のある人は休校明けにでも図書館へ足を運んでみてください。

自分に合う本の探し方

・興味のあるジャンルから探す

※本は小説だけではありません。自分の尊敬する人が書いた自伝・ことばや「なぜ宇宙ができたのか」など自分の疑問をわかりやすく教えてくれる本などたくさんのジャンルがあります。映画やアニメの原作などから本を手にとってみるのも違った発見があって面白いかもしれません。

・本屋に行く

※好きなジャンルといっても、それが自分に合う文章かは少し読んでみないとわかりません。ネットでは少ししか参照できないので、購入後に後悔することも多いです。本屋だとパラパラと全体を読むことができるので、「あっこれは面白そう！」という本が見つかる確率が高いですよ！

実際に読んでみよう！

・わからない言葉は調べる

※わからない単語をそのまま読んでいては知識はつきません。調べると、文脈で意味を覚えるので、忘れにくくなりますよ！私は有川浩さんの「図書館戦争」という小説で「業腹」という言葉を理解しました。

・想像してみる

※小説や自伝などでは「もし自分だったら」、宇宙などでは「どうしてだろう」と想像してみると世界が広がりますよ！